

1. 一採血当たりの経費負担額

区分	全血200	全血400	血小板成分	血漿成分	負担する費用	負担の区分
材料費	225.36 円	276.86 円	275.13 円	7,500.15 円	血液バッグ代(全血はシングルバッグ代相当、血小板は全血400と同額)、採血キット(血漿成分採血のみ) 製品表示ラベル 薬品費(成分採血の保存液、生理食塩液など) 止血・消毒用消耗品 検査試薬(血液型、NAT用など)	血漿成分採血のみ " "
経費	61.93 円	100.63 円	54.39 円	2,336.88 円	登録者への献血依頼経費、献血者処遇費(記念品代) <採血> 採血装置借料、減価償却費(採血装置分) 採血装置保守料 <検査> 検査検体送料 光熱水料等 検査機器保守料・減価償却費 <製造> 製造機器等保守料・減価償却費 光熱水料 (原料血漿の凍結・一時保管に関するもののみ) 白血球除去の導入に伴い生じた経費	血漿成分採血のみ 血漿成分採血のみ 献血ルームの借料・減価償却費は負担しない 血漿成分採血のみ 輸血用血液製剤の製造に係るものは負担しない。 全血採血のみ
人件費	218.26 円	288.46 円	110.70 円	5,661.73 円	医師(検診) 看護師(検診・採血・採血前後の準備) 検査職員(生化学検査・感染症検査) 事務職員(献血者の受付、採血後の対応) 製造職員(凍結・一時保管) 原料血漿の確保のため新鮮凍結血漿から転用するために生じた労務費	血漿成分採血のみ " " " 全血採血のみ
管理供給・調査研究費	125.85 円	241.22 円	220.24 円	471.95 円	原料血漿輸送・貯留保管費用(血液管理センターの管理部門経費含む) 1リットル当たり単価を1採血当たり単価に変換	製品供給費、研究開発費、その他の施設の管理部門経費は負担しない。
計	631.40 円	907.17 円	660.46 円	15,970.71 円		

1採血あたりの原料血漿量	0.12 ㍓	0.23 ㍓	0.21 ㍓	0.45 ㍓
合計(1リットルあたり単価)①	5,261.67 円	3,944.22 円	3,145.05 円	35,490.47 円

2. 原料血漿価格の計算(凝固因子製剤用)

原料血漿確保見込量②	119,407 ㍓	414,675 ㍓	176,540 ㍓	259,378 ㍓	原料血漿確保目標量:97万リットル
確保費用計 ①×②	628,280,230 円	1,635,569,429 円	555,227,127 円	9,205,447,128 円	
確保費用総計 ③	12,024,523,913 円				
原料血漿確保目標量④	97万リットル				
原料血漿標準価格 ③/④×105%	13,016 円/リットル			→	13,020 円

3. 凝固因子製剤用以外の原料血漿標準価格

積算内訳

その他の分画製剤用

$$\begin{array}{l} \text{凝固因子製剤用価格(案)} \\ 13,020 \text{ 円/リットル} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{現行価格の比率} \\ \frac{11,980 \text{ 円(その他分画用)}}{13,150 \text{ 円(凝固用)}} \end{array} = 11,861.6 \text{ 円/リットル} \rightarrow 11,870 \text{ 円}$$

II + III

$$\begin{array}{l} \text{現行価格} \\ 50,590 \text{ 円/kg} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{凝固因子製剤用血漿の価格変動割合} \\ \frac{13,020 \text{ 円}}{13,150 \text{ 円}} \end{array} = 50,089.9 \text{ 円/kg} \rightarrow 50,090 \text{ 円}$$

IV - 1

$$\begin{array}{l} \text{現行価格} \\ 15,210 \text{ 円/kg} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{凝固因子製剤用血漿の価格変動割合} \\ \frac{13,020 \text{ 円}}{13,150 \text{ 円}} \end{array} = 15,059.6 \text{ 円/kg} \rightarrow 15,060 \text{ 円}$$

IV - 4

$$\begin{array}{l} \text{現行価格} \\ 15,910 \text{ 円/kg} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{凝固因子製剤用血漿の価格変動割合} \\ \frac{13,020 \text{ 円}}{13,150 \text{ 円}} \end{array} = 15,752.7 \text{ 円/kg} \rightarrow 15,760 \text{ 円}$$

平成19年度需要見込関連表

種 類	換算規格	A	B	C	D=B+C	E	F=D-E	G
		H18年度 供給見込	H18年度末 在庫見込	H19年度製造 輸入見込量	H19年度 供給可能量	H19年度需要 見込量	H19年度末 在庫見込量	在庫量(ヶ月分)
ブミン	25% 50ml 1瓶	3,255,500	961,700	3,236,800	4,198,500	3,259,200	939,300	3.5
乾燥人フィブリノゲン	1g 1瓶	2,500	1,100	2,300	3,400	2,400	1,000	5.0
組織接着剤	Cm ²	9,308,100	2,683,100	10,803,700	13,486,800	10,723,300	2,763,500	3.1
血液凝固第Ⅳ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位 1瓶	328,900	142,000	351,900	493,900	343,000	150,900	5.3
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含)	1000単位 1瓶	36,400	12,800	34,300	47,100	37,100	10,000	3.2
インヒビター製剤	延人数	10,000	6,300	14,500	20,800	13,700	7,100	6.2
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅩⅢ因子	1瓶	137,300	43,200	130,200	173,400	117,200	56,200	5.8
トロンビン(人由来)	10000単位 1瓶	29,800	10,600	53,800	64,400	34,800	29,600	10.2
人免疫グロブリン	2.5g 1瓶	1,315,400	404,400	1,509,500	1,913,900	1,515,900	398,000	3.2
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	23,700	9,400	30,200	39,600	23,300	16,300	8.4
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	9,000	4,600	9,400	14,000	8,600	5,400	7.5
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位 1瓶	75,200	57,600	73,200	130,800	84,600	46,200	6.6
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位 1瓶	387,800	119,200	413,200	532,400	438,100	94,300	2.6
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	300	300	0	300	200	100	6.0
人ハプトグロビン	2000単位 1瓶	43,900	11,800	43,900	55,700	44,000	11,700	3.2
乾燥濃縮人CI-インアクチベーター	1瓶	630	200	700	900	460	440	11.5

平成17年度の血漿分画製剤の需給状況

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		16年度	17年度
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	3,136,000 (102.9%)	1,374,900 (87.0%)	3,357,300 (99.3%)	50.2%	53.7%
		3,048,800	1,580,300	3,380,300		
乾燥人フィブリノゲン	1g	1,900 (95.0%)	1,900 (95.0%)	2,500 (125.0%)	100.0%	100.0%
		2,000	2,000	2,000		
組織接着剤	接着面積(cm2)	9,419,900 (81.7%)	3,665,900 (96.0%)	9,554,600 (98.5%)	40.7%	45.3%
		11,529,100	3,819,000	9,695,700		
血液凝固第Ⅳ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	322,400 (108.2%)	105,700 (102.3%)	291,000 (93.0%)	39.9%	39.3%
		298,100	103,300	312,900		
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅴ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	38,400 (102.4%)	38,400 (102.4%)	38,900 (113.7%)	100.0%	100.0%
		37,500	37,500	34,200		
インヒビター製剤	延べ人数(人)	15,700 (112.9%)	0	13,000 (91.5%)	0.0%	0.0%
		13,900	0	14,200		
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第Ⅷ因子	(瓶)	161,100 (95.9%)	0	132,300 (89.9%)	0.0%	0.0%
		168,000	0	147,100		
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	38,900 (109.6%)	38,900 (109.6%)	40,700 (119.7%)	100.0%	100.0%
		35,500	35,500	34,000		
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	1,347,200 (105.2%)	1,192,000 (107.0%)	1,398,900 (99.5%)	87.5%	88.6%
		1,280,800	1,114,300	1,405,900		
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	17,000 (73.0%)	600 (100.0%)	19,700 (96.6%)	2.7%	2.6%
		23,300	600	20,400		
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	1,900 (26.8%)	0	8,700 (96.7%)	0.0%	0.0%
		7,100	0	9,000		
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	72,100 (81.4%)	0	78,300 (88.5%)	0.0%	0.0%
		88,600	0	88,500		
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	402,300 (102.9%)	388,900 (103.2%)	398,600 (109.8%)	88.0%	94.9%
		391,000	377,000	363,100		
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	370 (37.0%)	370 (37.0%)	90 (23.7%)	100.0%	100.0%
		1,000	1,000	380		
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	45,500 (130.7%)	35,500 (136.5%)	44,000 (102.1%)	0.0%	46.7%
		34,800	26,000	43,100		
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	860 (286.7%)	0	540 (120.0%)	0.0%	0.0%
		300	0	450		

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

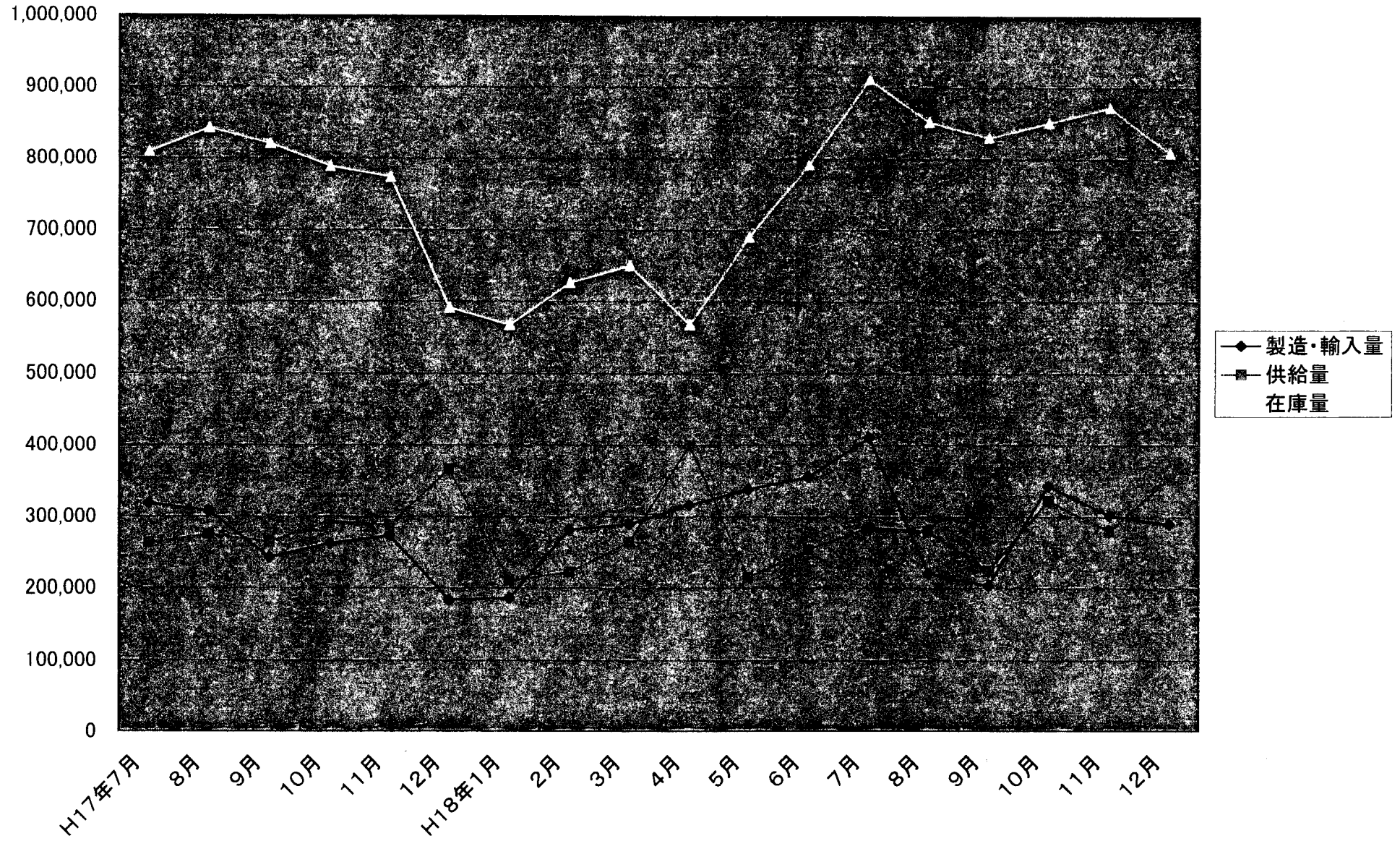
平成18年度の血漿分画製剤の需給状況(4月～12月実績)

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		17年度	18年度 (上半期)
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	2,778,500 (82.9%) 3,353,100	1,615,600 (86.6%) 1,866,500	2,614,600 (80.3%) 3,255,500	53.7%	55.4%
乾燥人フィブリノゲン	1g	2,100 (67.7%) 3,100	2,100 (67.7%) 3,100	2,200 (88.0%) 2,500	100.0%	100.0%
組織接着剤	接着面積(cm2)	7,715,000 (80.5%) 9,581,500	4,206,400 (99.0%) 4,250,000	8,129,000 (87.3%) 9,308,100	45.3%	48.9%
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	195,500 (57.6%) 339,700	82,900 (63.9%) 129,700	242,000 (73.6%) 328,900	39.3%	35.4%
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	26,900 (71.7%) 37,500	26,900 (71.7%) 37,500	30,000 (82.4%) 36,400	100.0%	100.0%
インヒビター製剤	延べ人数(人)	10,200 (82.9%) 12,300	0 0	11,100 (111.0%) 10,000	0.0%	0.0%
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	93,200 (58.1%) 160,400	0 0	104,300 (76.0%) 137,300	0.0%	0.0%
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	10,300 (34.8%) 29,600	10,300 (34.8%) 29,600	34,700 (116.4%) 29,800	100.0%	100.0%
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	1,088,100 (73.0%) 1,490,800	999,000 (73.5%) 1,359,900	1,140,500 (86.7%) 1,315,400	88.6%	91.1%
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	18,100 (83.0%) 21,800	600 (100.0%) 600	15,700 (66.2%) 23,700	2.6%	2.1%
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	8,700 (124.3%) 7,000	0 0	7,200 (80.0%) 9,000	0.0%	0.0%
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	57,800 (50.8%) 113,800	0 0	61,700 (82.0%) 75,200	0.0%	0.0%
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	329,600 (96.8%) 340,600	317,900 (96.7%) 328,600	324,800 (83.8%) 387,800	94.9%	96.4%
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	640 (213.3%) 300	640 (213.3%) 300	200 (66.7%) 300	100.0%	100.0%
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	21,700 (52.7%) 41,200	21,700 (52.7%) 41,200	33,100 (75.4%) 43,900	46.7%	100.0%
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	340 0	0 0	430 (68.3%) 630	0.0%	0.0%

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

アルブミン製剤の製造量等の推移



免疫グロブリン製剤の製造量等の推移

